

はまな

No.588 令和7年3月

静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場

〒431-0214

静岡県浜松市中央区舞阪町弁天島 5005-3

TEL 053-592-0139 FAX 053-592-0906

<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/hamanako>

e-mail: suigi-hamanako@pref.shizuoka.lg.jp

目次

令和6年の浜名湖漁獲統計	・・・ 1
西部地区の漁業者2名が青年漁業士に認定されました	・・・ 4
体験学習施設ウオットより	・・・ 5

写真：舞阪魚市場へのマダイの水揚げ

令和6年の浜名湖漁獲統計

吉川 昌之

浜名漁業協同組合（以下「浜名漁協」といいます。）の資料を基に、令和6年の浜名湖における漁獲データを集計しました。なお、本年からハマグリを漁獲統計対象に加えました。データの集計に当たって、令和6年11月から鷺津支所のデータが新居支所に、12月から雄踏支所のデータが本所（舞阪）に統合されたため、はじめにそれらの取扱について検討しました。鷺津支所のデータについては、新居支所における統計対象魚種のデータはもともと集計していることから、今回の統合に際して、特別な対応はしませんでした。一方、雄踏支所のデータについては令和5年までとは集計方法を変更しました。変更の詳細は各項目の記述をご覧ください。

1 漁業種類別漁獲量及び漁獲金額について

統計対象の漁業種類は、採貝、袋網、三枚刺網、雑漁業、うなぎつぼ、メッコ網及びたきや漁です。このうち、三枚刺網と雑漁業については、これまで本所（舞阪）の漁獲は外海におけるものとしてその値を総計から減じていました。しかし、令和6年においても従来どおり対応すると、前述の統合の影響により、湖内での漁獲である雄踏の12月分を減じてしまうことになり、また、12月分の漁獲を本所（舞阪）分と雄踏分に区別することがきかないため、当該漁業2種については1～11月分の集計としました。なお、採貝、袋網、うなぎつぼ、メッコ網及びたきや漁は従来どおり1～12月分を集計しました。したがって、例年集計していた漁獲量及び漁獲金額の年間合計値、並びに年間漁獲金額に占める各漁業種類の漁獲金額の割合は、集計方法が異なるため算出しませんでした。

令和6年の漁業種類別漁獲量及び漁獲金額を表1に示しました。漁獲金額は、メッコ網が圧倒的な1位となり、次いで袋網、三枚刺網の順となりました。例年上位にあった採貝は、本年からハマグリを加えて集計しましたが、それでも5位に留まりました。採貝、袋網、うなぎつぼ、メッコ網及びたきや漁の漁獲金額の経年変化を図1に示しました。採貝は平成26年には15億円ありましたが、その後減少を続け、令和3年に4千万円まで減少し、いったん底を打ちましたが、本年は再び大きく減少し1千万円となりました。一方メッコ網は、昨年までは2～6億円の範囲で推移していましたが、本年は大きく増加し10億円になりました。袋網は緩やかな減少傾向、うなぎつぼは横ばい、たきや漁は緩やかな上昇傾向にあります。

表1 令和6年の漁業種類別漁獲量及び漁獲金額

	漁獲量(kg)	漁獲金額(万円)	備考
採貝	12,630	1,111	アサリ+ハマグリ
袋網	38,761	9,200	
三枚刺網*	14,733	3,546	
メッコ網	407	99,884	
うなぎつぼ	2,964	1,695	
たきや	422	163	
雑漁業*	3,092	261	

*集計対象は1～11月

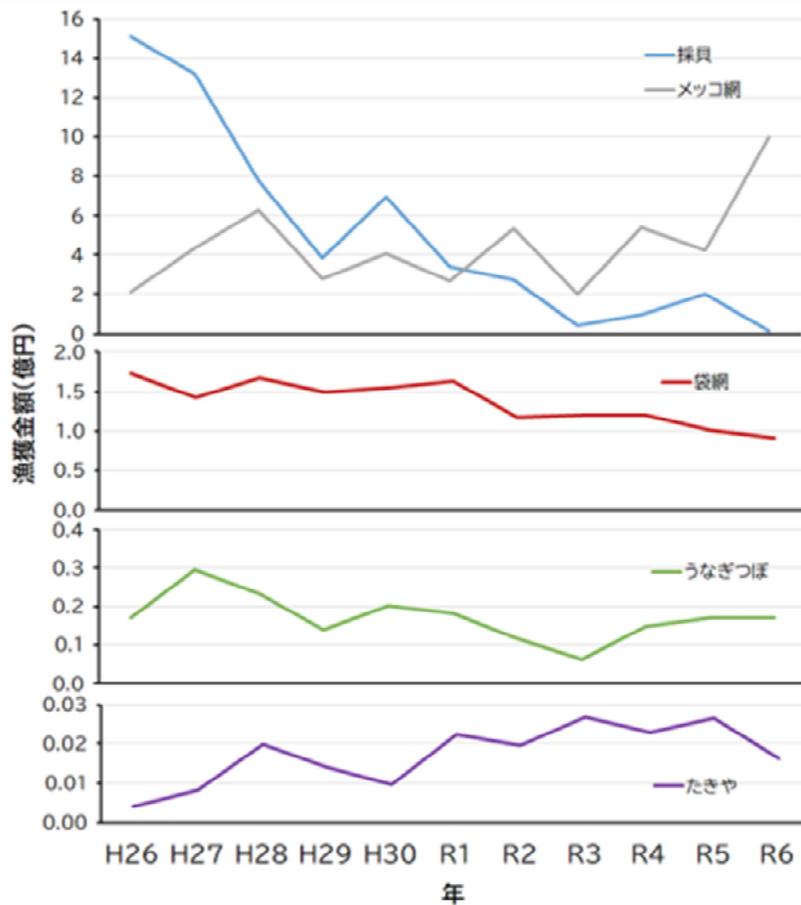


図1 採貝、メッコ網、袋網、うなぎつぼ及びたきや魚の漁獲金額の経年変化
(採貝はR4年からアサリとハマグリ合計値)

2 魚種別漁獲量について

統計対象31魚種のうち、従来、ウナギ、クルマエビ、ノコギリガザミ、ハマグリ、アサリ及びシラスウナギ（以下これら6種を「特定6種」といいます。）は、本所（舞阪）水揚げ分も浜名湖内の漁獲に算入し、それ以外の魚種は、本所（舞阪）水揚げ分は外海における漁獲としてその値を除外していました。令和6年は、特定6種については従来どおりの方法で1～12月を集計しました。特定6種以外の魚種については、令和5年12月の本所（舞阪）と雄踏での各魚種の水揚げの状況から、対処方法を以下のとおり分類しました。

<12月も従来どおり本所（舞阪）水揚げ分は除外して1～12月を集計>

マイワシ、マアジ、サバ、カンパチ、キス、アナゴ、サヨリ、カマス、アイゴ、カワハギ、クルマエビ、雑エビ、イカ類、タコの14魚種

<12月の本所（舞阪）水揚げ分を雄踏水揚げ分とみなして浜名湖内の漁獲に算入し、1～12月を集計>

ハゼ（マハゼ）、ボラ、コノシロの3魚種

<本所（舞阪）水揚げ分と雄踏水揚げ分が分離不能のため、12月は除外し1～11月で集計>

ヒラメ・カレイ類、コチ、キビレ、クロダイ、スズキ、雑魚、カニ、雑カニの8魚種

この方法により、令和6年の魚種別月別漁獲量、並びに年間漁獲量の前年値及び平年値（平成26年から令和5年までの10年間の平均値）との比較を表2に示しました。なお、1～11月で集計した魚種においては、前年値及び平年値についても1～11月で集計しました。また、例年行っていた支所別の集計は取りやめました。

表2 令和6年の魚種別月別漁獲量、並びに年間漁獲量の前年値及び平年値との比較

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年(R5年)	R6年-R5年	R6年/R5年	平年値**	R6年/平年
コノシロ	1	0	31	444	148	1,104	933	278	475	396	293	223	4,326	4,048	278	1.07	12,530	0.35
マイワシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	▲3	0.00	653	0.00
ウナギ	33	0	0	236	591	730	1,240	728	851	624	733	256	6,022	6,418	▲396	0.94	8,182	0.74
シラスウナギ	149	76	101	45	4	0	0	0	0	0	0	32	407	230	▲177	1.77	457	0.89
アナゴ	1	0	0	0	1	4	3	0	0	0	0	0	9	450	▲441	0.02	907	0.01
サヨリ	0	0	0	22	5	1	0	0	4	0	1	1	34	53	▲19	0.64	264	0.13
ボラ	2	0	4	107	32	39	133	57	160	124	220	50	928	944	▲16	0.98	1,329	0.70
カマス	0	0	0	0	1	0	2	0	34	120	38	0	195	583	▲388	0.33	870	0.22
サバ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	▲31	0.00	145	0.00
マアジ	0	0	0	67	482	563	150	53	9	95	94	70	1,583	2,846	▲1,263	0.56	2,374	0.67
カンパチ	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	7	80	▲73	0.09	434	0.02
スズキ*	94	0	6	583	725	686	719	1,198	896	862	1,097	190	6,866	10,666	▲3,800	0.64	16,606	0.41
キス	0	0	0	0	0	0	0	22	20	17	249	190	498	42	▲456	11.86	233	2.13
クロダイ*	17	0	30	233	117	442	1,141	345	269	548	293	190	3,435	4,340	▲905	0.79	2,971	1.16
キビレ*	1	0	2	33	96	97	239	213	183	187	83	190	1,134	1,111	▲23	1.02	1,277	0.89
ハゼ(マハゼ)	150	0	0	25	8	187	290	147	128	25	37	182	1,179	1,817	▲638	0.65	4,603	0.26
コチ*	5	0	0	54	56	46	64	125	186	212	82	190	830	903	▲73	0.92	1,429	0.58
アイゴ	0	0	0	15	139	68	20	86	107	59	34	0	528	744	▲216	0.71	1,437	0.37
ヒラメ・カレイ類*	11	0	15	148	136	124	50	21	179	392	356	190	1,432	2,011	▲579	0.71	3,448	0.42
カワハギ	0	0	0	0	0	0	1	7	3	21	29	7	68	494	▲426	0.14	519	0.13
雑魚*	62	14	7	509	753	475	458	443	314	577	596	190	4,208	3,709	▲499	1.13	7,568	0.56
クルマエビ	0	0	0	14	228	298	133	30	6	0	0	0	709	1,778	▲1,069	0.40	2,854	0.25
クマエビ	0	0	0	0	0	0	5	576	530	269	14	0	1,394	1,970	▲576	0.71	2,918	0.48
カニ*	4	0	0	12	17	48	25	42	114	251	129	190	642	628	▲14	1.02	2,014	0.32
ノコギリガザミ	61	3	10	51	88	163	758	948	1,226	824	1,414	1,130	6,676	6,543	▲133	1.02	5,586	1.20
雑エビ	0	0	0	1	63	753	623	188	495	121	8	0	2,252	2,890	▲638	0.78	5,046	0.45
雑カニ*	16	0	0	292	235	461	355	483	248	252	114	190	2,456	5,241	▲2,785	0.47	7,171	0.34
イカ類	0	0	0	80	319	259	140	99	4	17	8	4	930	653	▲277	1.42	2,178	0.43
タコ	0	0	0	14	60	61	112	53	0	0	0	0	300	42	▲258	7.14	3,882	0.08
ハマグリ	0	2,138	2,562	0	3,512	4,239	0	0	0	0	0	0	12,451	11,563	▲888	1.08	1,446,899	0.00
アサリ	20	29	37	57	24	13	0	0	0	0	0	0	180	362,714	▲362,534	0.00	1,446,899	0.00

*集計対象は1～11月

**平年値：平成26年～令和5年の平均値

令和6年の漁獲量の対前年比及び対平年比の増減により、ハマグリを除く30魚種を分類し表3に示しました。多くの魚種が対前年比及び対平年比ともに減で、対前年比で増であったのはキス、シラスウナギ、イカ類及びタコ、前年並みであったのはノコギリガザミ、コノシロ、ウナギ、ボラ、キビレ、コチ、雑魚及びカニでした。また、対平年比で増であった魚種はキスとノコギリガザミ、平年並みがクロダイでした。キスは対前年比及び対平年比ともに増、ノコギリガザミは対前年比並み、対平年比増でした。

令和6年の浜名湖内漁業は、アサリの漁獲量が激減してほぼ0となり大変厳しい状況となりました。一方で、ノコギリガザミは対平年比で増となり、資源の維持が継続しているとみられます。

表3 浜名湖におけるハマグリを除く30魚種の令和6年の対前年比及び対平年比の増減

対前年比 \ 対平年比	対平年比		
	増	並	減
増	キス		シラスウナギ、イカ類、タコ
並	ノコギリガザミ		コノシロ、ウナギ、ボラ、キビレ、コチ、雑魚、カニ
減		クロダイ	マイワシ、アナゴ、サヨリ、カマス、サバ、マアジ、カンパチ、スズキ、ハゼ(マハゼ)、アイゴ、ヒラメ・カレイ類、カワハギ、クルマエビ、クマエビ、雑エビ、雑カニ、アサリ

西部地区の漁業者2名が青年漁業士に認定されました

市川 稜

令和7年1月15日、静岡県庁において漁業士認定式が行われ、指導漁業士4名、青年漁業士3名の計7名が、新たに認定されました。漁業士とは、地域の中核を担う漁業者や、後継者育成のため指導的役割を担う漁業者を県が認定する制度です。今回、西部地区からは、浜名湖でかき養殖を営む堀内拓郎さん、並びに福田地区でしらす漁や一本釣り漁業を営む伊藤悠馬さんの2名が、青年漁業士に認定されました。

当日は、青年漁業士を代表して伊藤さんが、増井浩二副知事から認定証書を授与されました。

地域の漁業を担う若手漁業者の中心として、今後さらなる活躍が期待されます。



増井副知事から証書を授与される伊藤さん



本年度認定された青年漁業士の皆さん
(左端・右端のお二人。堀内さんは所用のため欠席)

体験学習施設ウオットより

★2025年冬季企画展示「うなぎ展～知ってる？うなぎのスゴイところ！～」を開催しました★

浜名湖体験学習施設ウオットでは1月11日～2月24日の期間「うなぎ」をテーマに企画展を開催しました。

冬の恒例企画展示、うなぎ展ではウナギ独特の生態を掘り下げて紹介。日本で見られるニホンウナギ・オオウナギ・バイカラ種ウナギの生体展示の他にウナギと似た生態をもつゴンズイ・アナゴ等を生体展示しました。

他にも当企画の会期中特別イベントとして企画エリアの解説板からキーワードを見つける「キーワードラリー」やSNS参加型イベント「ウナギのフォトコンテスト」、中庭で「ウナギのタッチプール」を開催しました。食用とされるニホンウナギや日本では珍しいバイカラ種ウナギのタッチングでは多くの方が参加され好評をいただきました。

※本コーナーに関するお申込み・お問い合わせは、ウオット（TEL：053-592-2880）にお願いします。



うなぎ展チラシ



ウナギのタッチプールイベントの様子

(ウオット飼育主任 工藤 隆馬)

分場日誌（令和6年11月～令和7年2月）

【11月】

- 6日 定点観測
貝毒検査
- 13日 水産・海洋研究発表会
- 25日 浜松パワーフード学会講演対応
- 28日 しずおか農林水産物認証更新審査

【12月】

- 3～4日 漁場環境保全会議赤潮・貝毒部会（広島）
- 4～5日 水産増養殖関係研究開発推進会議魚病部会（三重）
- 10日 定点観測
- 18日 貝毒検査

【1月】

- 8日、22日 貝毒検査
- 10日 定点観測
- 15日 漁業士認定式
- 29日 水産振興審議会

【2月】

- 3～4日 アユ疾病研究部会（福岡）
- 5日、19日 貝毒検査
- 6日 定点観測
- 19日 地域水産試験研究振興協議会（Web）
- 26日 普及成果報告会

弁天島の水温・比重（令和6年11月～令和7年2月）

月		2024年-2025年		平年※	
		水温	比重(σ15)	水温	比重(σ15)
11月	上旬	23.3	25.9	20.4	24.6
	中旬	22.0	25.3	19.6	25.2
	下旬	18.5	25.6	18.1	25.4
	平均	21.1	25.5	19.4	25.1
12月	上旬	15.7	25.5	16.4	25.5
	中旬	16.2	26.8	15.7	26.1
	下旬	12.3	26.0	13.9	26.1
	平均	15.0	26.1	15.4	25.9
1月	上旬	12.5	25.7	13.2	26.5
	中旬	15.2	27.0	13.2	26.6
	下旬	15.6	27.1	13.6	26.7
	平均	14.7	26.7	13.4	26.6
2月	上旬	12.3	26.9	13.7	26.8
	中旬	12.9	27.0	13.5	26.7
	下旬	13.1	27.1	13.8	26.8
	平均	12.7	27.0	13.6	26.8

※ 過去10年平均

関連情報をQRコードから確認できます

浜名湖分場	広報誌「はまな」	ウオット	関東・東海海況速報
			